

の・び・の・び

子どもの目

『 子どもの視力の発達する0歳から6歳くらいまでの間は、子どもの目のために特に大切な時期。でも、子どもは自分では目の異常はわかりません。周りの大人がサインに気づいて、なるべく早く専門医に繋げることが重要です。 』

①ものを見るとき

● 極端に顔を近づける



● 顔を傾けて見る



● 片方または両目の目を細める



②見た目

● 寄り目になっている
目の方向がずれている



● 眼球が振動している



● 目の色が濁っている



③動作など

● 反応が鈍い



● 集中力がなく、飽きっぽい



気をつけたい

子どもの【弱視】

視力が育つ途中で、斜視や屈折異常などの何らかの異常によって発達が妨げられると、見たものを脳に伝える回路の成長が未発達のまま止まってしまいます。これが「弱視」です。弱視は早期発見、早期治療が鍵。大きくなってからでは治療が間に合わないこともあります。



備えておきたい防災グッズ

- 食 事：非常食 離乳食 授乳用ケープ ミルクセット スプーンと紙コップ
ラップ（食器を包んで使うと、洗わなくて済むので節水になります）
- 排 泄：おむつ おしりふき
- 衣 服：着替え 靴 防寒具
- そ の 他：抱っこひも 子ども用の軍手やマスク ガーゼ
- 心のケア：おもちゃ など



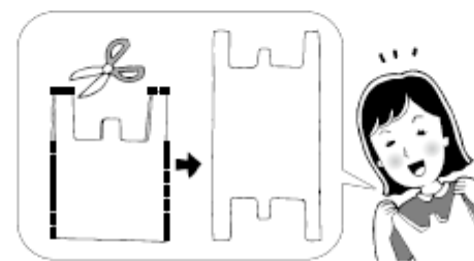
非常時に知っておきたい

簡単!

手づくりおむつ美

材料：ビニール袋、はさみ、やわらかめのタオル

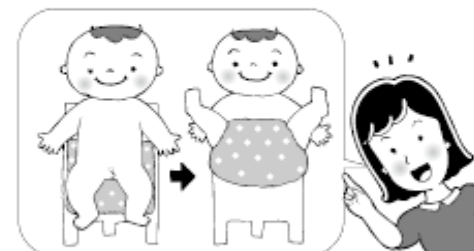
① ビニール袋の持ち手の上部分と両脇を切り、ビニール袋を広げる



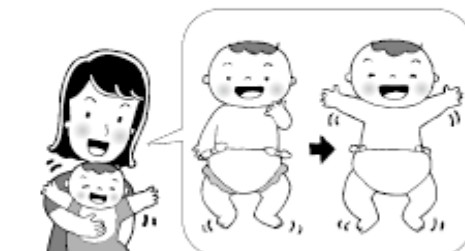
② 広げたビニール袋の上にタオルを敷く



③ タオルを腹部まで覆う



④ ビニール袋の両脇を結び、はみ出したタオルはビニール袋の中に入れる



※非常時のおむつなので、通気性が悪く、横漏れもします。おしりをだしてムレを防いであげたり、こまめに替えてあげるようにしましょう。